

黒潮は、接岸して房総沖を北東へ流れていました（図 2）。
水温は、平年並でした（表 1）。

【詳細】

水温は、水深 0, 50, 100, 200m いずれも平年並でした（表 1）。水深 10, 100m では、ごく沿岸に顕著な水温変化（潮目）が形成されていました（図 3）。鉛直的にみると、先月はいずれの観測ラインも、沖側が海面から水深 200 m 程度まで水温、塩分がほぼ一様でしたが、成層が形成されたため、太東岬や野島埼沖では水温がほぼ一様な層は見られなくなりました（図 5）。

黒潮は接岸して房総沖を北東へ流れていました。犬吠埼沖の黒潮前線付近では 4 ノットに達する速い流れが見られました（図 2）。

クロロフィル a 濃度は、水深 10 m でごく沿岸が $3\text{mg}/\text{m}^3$ 以上でした（図 7）。

キンメダイ漁場の底層水温は、勝浦沖は例年より 2°C ほど低め、銚子沖は例年並みでした（図 8）。海面の流況は、流向はいずれも北東へ向かう流れで、速さは勝浦沖は 2.4 ノット、銚子沖は 4.0 ノットに達していました。

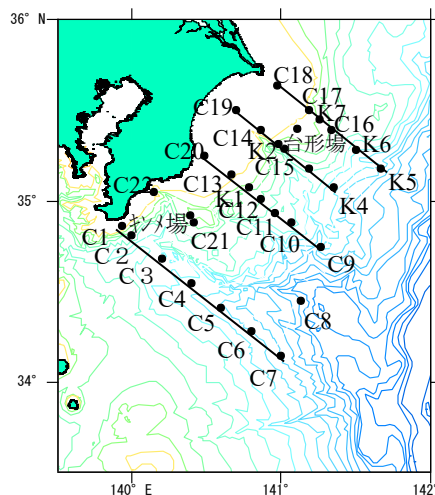


図 1 調査点

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

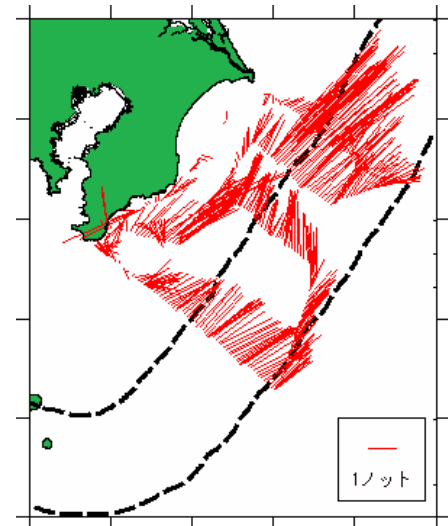


図 2 黒潮流路（破線）と流況

表 1 海域別平均水温（ $^{\circ}\text{C}$ ）と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	17.0 平年並	15.6 平年並	14.8 平年並	14.1 平年並
外房	16.7 平年並	15.6 平年並	14.2 平年並	12.8 平年並

* 水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計 7 点，
外房海域：C1, 3, 11, 13, 21, 22 計 6 点

* 沿岸水温評価の目安（ σ ：標準偏差）

きわめて高め	2.0 σ ～
高め	1.3 σ ～ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ～ 1.3 σ
平年並	0.0 σ ～ 0.6 σ , -0.6 σ ～ 0.0 σ
やや低め	.6 σ ～ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ～ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ～

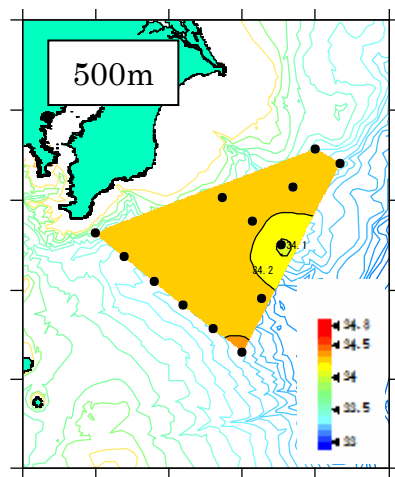
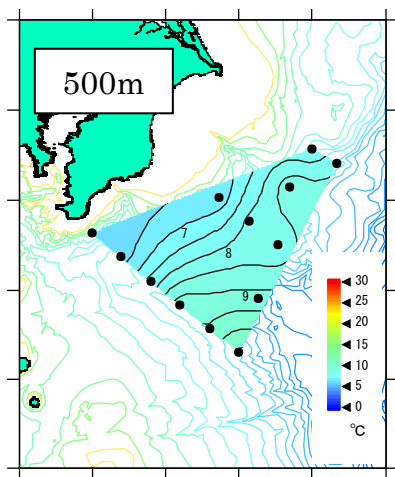
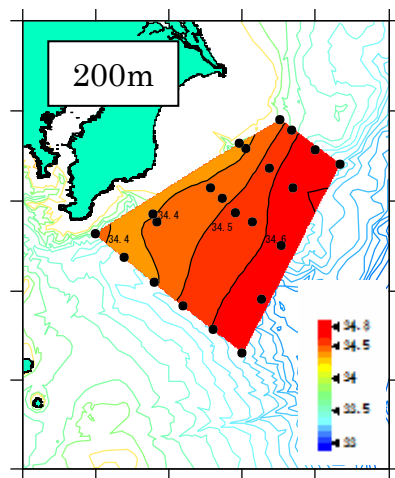
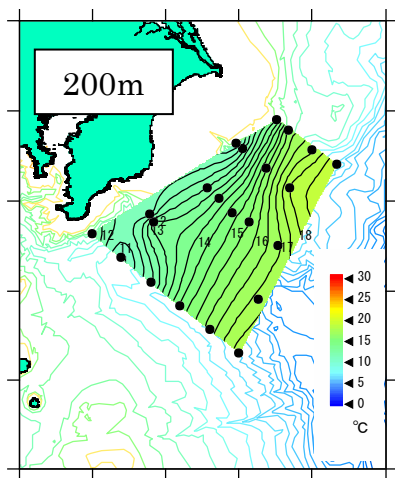
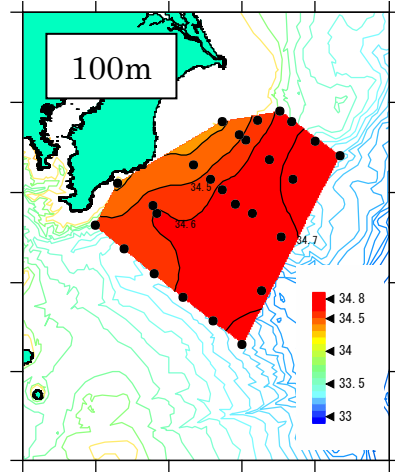
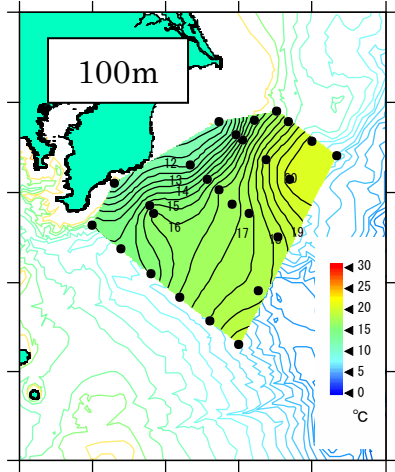
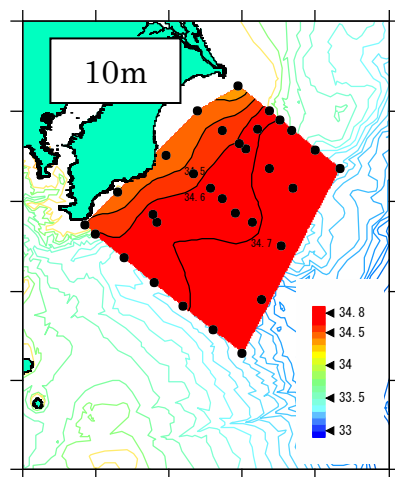
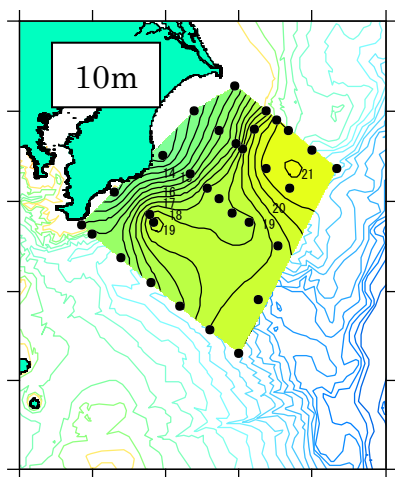


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

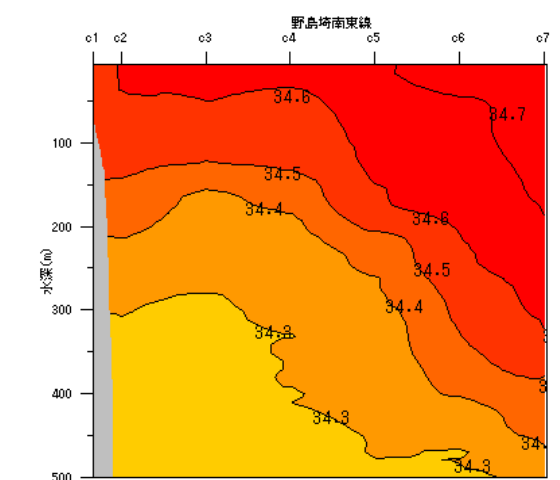
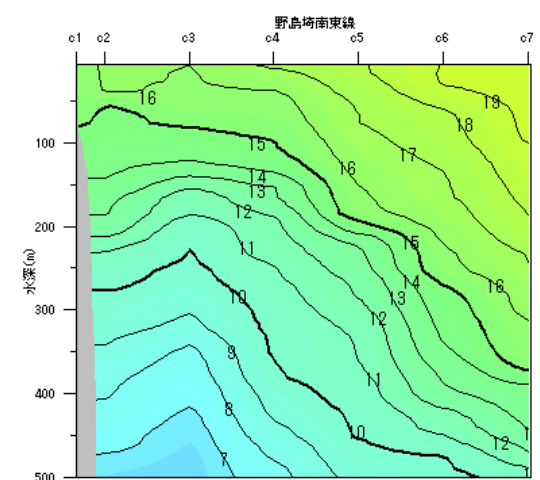
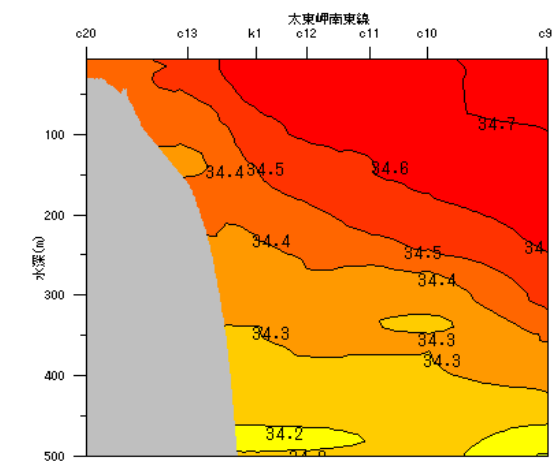
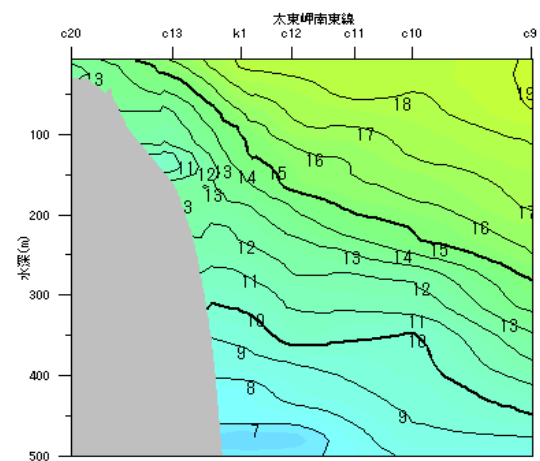
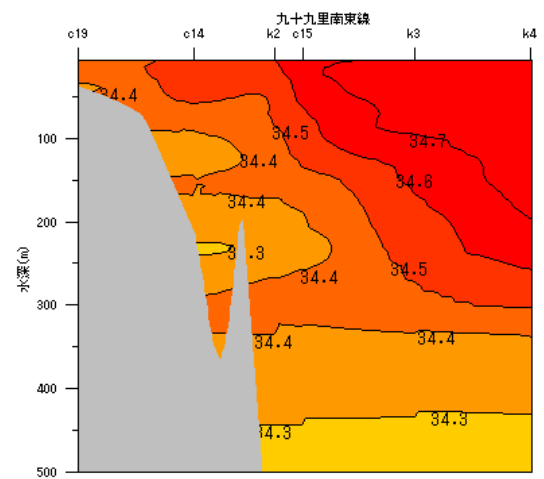
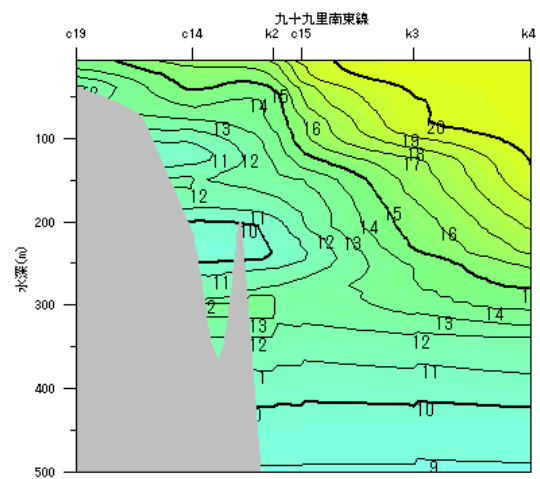
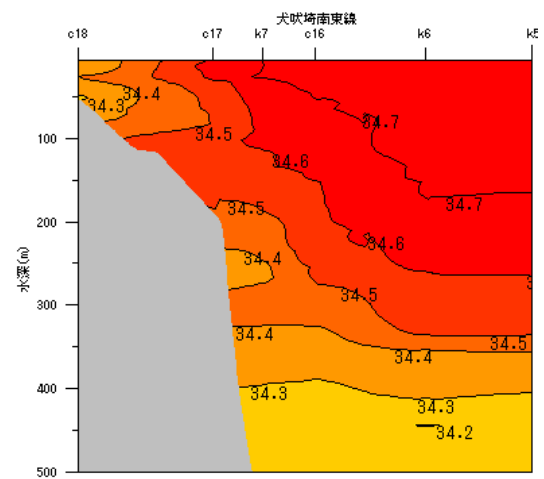
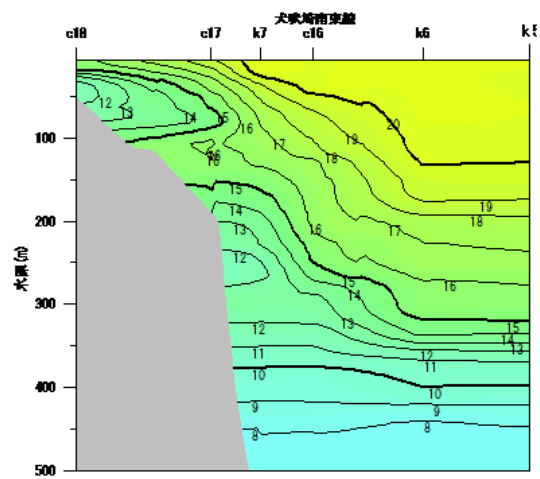


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1 参照）

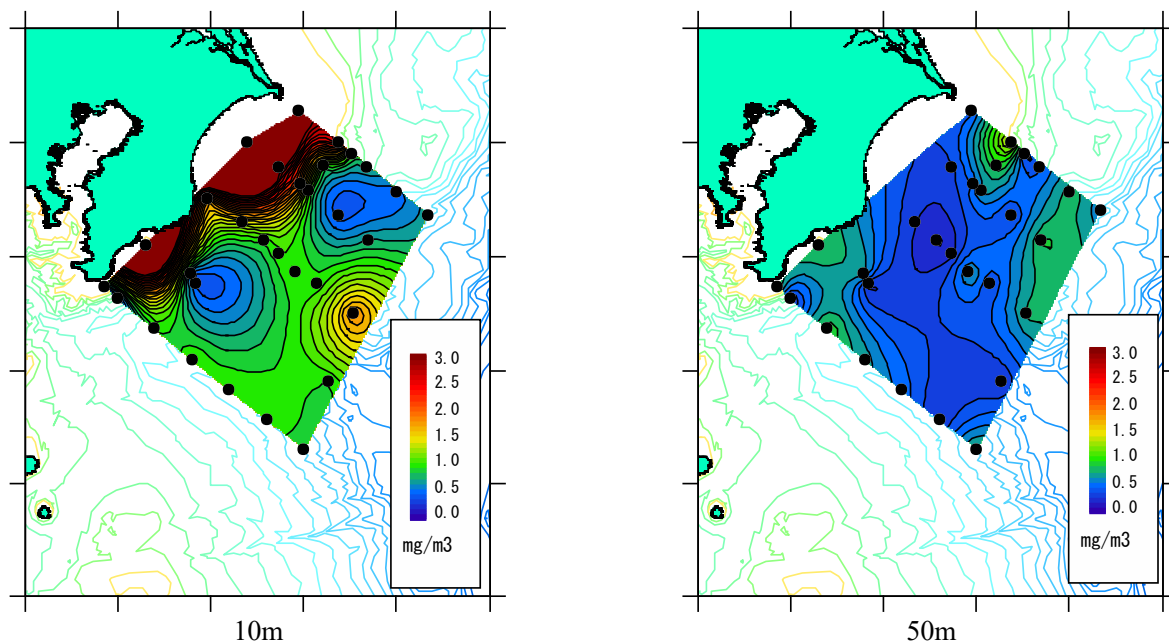


図7 水深別のクロロフィル分布

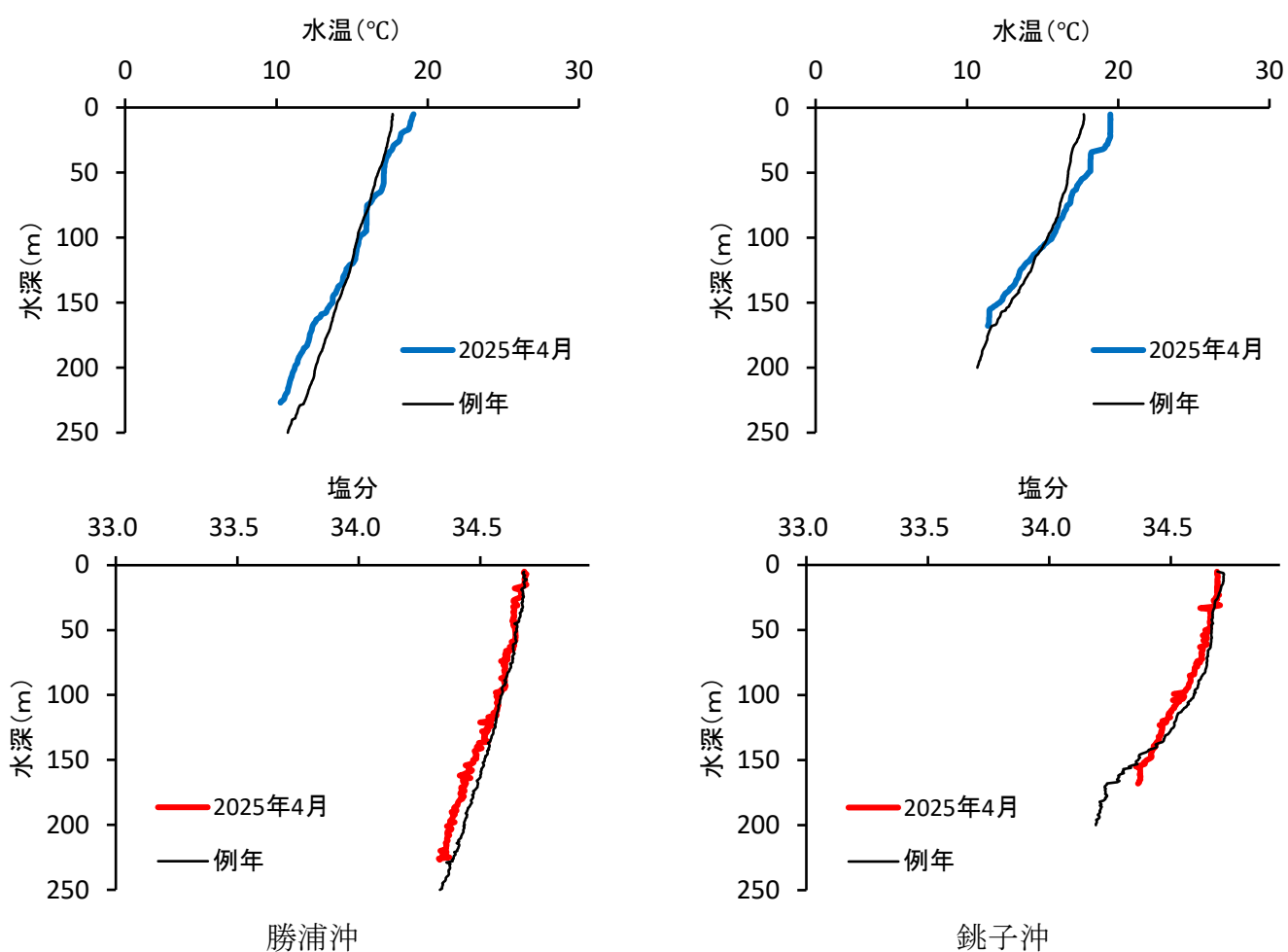


図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布（青：水温、赤：塩分）